

第49回全日本こけしコンクール

～ほほえみの年輪を重ねて～

入場無料

●日時 5月3日～5月5日、9時～17時 ●会場 ホワイトキューブ

今年のこけしコンクールも見どころ満載!

- ・「コンクール会場」では、伝統・新型・創作こけしなど、ここでしか見られないこけしが全国から一堂に会します。
 - ・「地場産品まつり」では白石市とその周辺地域の地場産品が一堂に会します。
 - ・「こけしの実演販売」では各系統の工人が一堂に会します。
- その場でこけしを製作し、販売します。

系統名	氏名	系統名	氏名
津軽系	盛 美津雄	山形作並系	会田 栄治
南部系	すすまご 煤孫 もりぞう 盛造	鳴子系	大沼 ひであき 秀顯
まじやま 木地山系	小野寺 正徳	遠川田系	佐藤 まさひろ 正廣
ひじおろ 肘折系	鈴木 征一	土湯系	阿部 国敏
蔵王高湯系	吉田 昭		

・毎年大人気の「こけしの絵付け体験」では、こけしに絵を描いて、自分だけのオリジナルこけしを作ることができます。

第9回写真コンクール作品募集!

「こけし」を題材とした写真コンクールに応募してみませんか? こけしに関するものであればどんな写真でも構いません。作品はコンクール会場に展示されます。

●応募資格 アマチュアの方

●サイズ 四切り(ワイド四切り可)のカラー・白黒写真。

※継ぎ写真やスライドは不可です

●応募規定

- ①作品は未発表のものに限ります。
- ②応募点数は一人2点まで。
- ③作品の裏側に所定事項(題名、氏名、生年月日、住所、職業、電話)を記入した応募票を必ず作品ごとに添付してください。
- ④入賞作品の著作権は主催者に帰属します。
- ⑤応募作品は原則返却しませんが、返却希望の場合は、返送用切手を同封してください。

※応募票は商工観光課または白石駅観光案内所に備え付けているほか、市のホームページからもダウンロードできます。

●賞

- ①特選1点(賞金・記念品)
- ②準特選2点(賞金・記念品)
- ③入賞2点(記念品)
- ④佳作3点(記念品)

※審査結果は4月末日に応募者全員に通知します。

●応募締め切り 4月26日(木) ※必着

豪華特典

5月3日(木)

・展示場・即売場一番乗りの方各1名に1尺5寸のこけしをプレゼント!

・展示場・即売場先着各50名に記念品をプレゼント!

・数量限定、来場者に緑化木をプレゼント!

5月4日(金)

・数量限定、来場者に緑化木をプレゼント!



このほかにもイベントをたくさん
ご用意してお待ちしています。
皆さん、ぜひ会場に足をお運びください!

◎全日本こけしコンクール事務局
(商工観光課内) ☎22-1321

教育のひろば

No.29

市内の各小学校では、学習指導要領の狙いを受け「子どもたちの生きる力をはぐくむ」さまざまな教育活動を行い、特色ある学校づくりを進めています。

「教育のひろば」では、家庭・学校・地域がお互いを理解するとともに協力し合える姿を目指し、教育活動の紹介を行っています。今月は福岡小学校です。

白石市立福岡小学校

☎25-3359 ☎25-1422 URL: http://www.fukuoka-e.myswan.ne.jp/ Eメール: chief@fukuoka-e.myswan.ne.jp

教育目標

自ら学び、心豊かにたくましく生きる子どもの育成

目指す子ども像

- 進んで学ぶ子ども
- 思いやりのある子ども
- 体をきたえる子ども

目指す学校像

- 子どもにとって学びたくなる学校
- 保護者にとって通わせたい学校
- 地域にとって誇れる学校

特色ある教育活動

●校内研究の充実

本校では、国語科において「確かな読む力を身に付け、進んで文章に親しむ児童の育成」の研究に取り組んでいます。特に本を読むことを重点に、家庭での読書や朝会時に全学年の朗読会を実施しており、徐々に成果が表れています。



▲朝会時の2年生の朗読

●心の教育の充実

人数の多い学校ではなかなか難しい活動ではありますが、児童間のふれあいを通して豊かな人間性の育成を図る、全校縦割り活動を行っています。1年生から6年生までが一つのグループをつくり、遊ぶといった活動です。自己紹介してグループ名を決め、業間の時間にボール運動や鬼ごっこ、花いちもんめなど、楽しい遊びが校庭いっぱいに行われます。

また、児童の年間の最大のイベント「かしの木ふれあいまつり」は、異学年の交流活動です。4～6年生がお祭りのお店を出し、1～3年生が楽しく遊ぶ児童会企画の恒例の行事で、上級生が下級生に遊びを教え、楽しく遊ぶことを通じて異学年の交流を深め、学校の一員として自覚を持つようになります。

●「野焼き・手延べうーめん作り・芋煮会」

4年生が、親子活動で作った粘土作品の野焼きや畑に植えていた里芋の収穫祭、総合的な学習で取り組んだ白ろうーめん作りの体験を行いました。野焼きの火入れ後にうーめん作り、うーめんの練った粉をねかせている間に芋の子汁作りといったスケジュールでしたが、多数のお母さん方に参加していただき、スムーズに進めることができました。



▲親子で粘土の作品作り。野焼きして完成です。

●「宿泊体験学習」

蔵王自然の家で宿泊体験学習を実施し、キャンプファイアーや野外炊飯活動、南蔵王縦走登山などを行います。子どもたちは、登山に向けて毎日階段や坂道などを使ったマラソンに取り組み、体力をつけます。また、総合的な学習の時間では蔵王の野鳥や草花、魚、動物、不忘の碑について調べたり、キャンプファイアーの時にスタンプの練習を行います。初めて体験する登山はとて大変ですが、景色の素晴らしさと、登山を成し遂げたことに感動し、苦しくても頑張れば何かにつかめることを感じてもらいます。



▲屏風岳で記念撮影

●本分校交流教育の充実

全国でも珍しい3つの分校(八宮分校、長峰分校(現在休校措置)、不忘分校)を持つ本校では、各校がそれぞれの特質を生かし、各種行事や授業を通じた交流活動を展開しています。本校児童も、分校の大自然を体験しながら各校の友達と楽しい一日を過ごします。不忘分校交流では1・2年生が冬にソリ滑り、3年生が分校とその周辺で牧場体験や自然散策、各分校児童との交流を行ったほか、八宮分校交流では4年生が分校近くの古民

家を見せていただき、昔の暮らしについて学習しました。分校の先生や友達には手作りフリスビーの作り方を教えてもらい、校庭で飛ばすなど、楽しく交流しています。

また、分校児童には本校の多くの子どもの中で自分の意見を述べたり、友達の話を聞いて一緒に行動をするなど、集団生活に慣れさせることを目的とした教育活動を行っています。

「本は心の食べ物」(森) 昨年度の卒業生、そして本年度の6年生に、卒業式までに伝記を10冊読みなさいという宿題を出しました。昨年度は1名を除き、見事に達成してくれました。彼らにとって、将来必ずどこかで役に立つと思っていました。なぜなら、本は「心の食べ物」、そして「心の栄養」だからです。夜、テレビもついたら家族で読書。とても素敵な光景だと思えます。テレビやテレビゲームに慣れきってしまっている子どもたち。時にはお父さんやお母さんに読み聞かせてほしい。たり、冊の本を読んだの感想を話し合ったりするの、良いのではなからうでしょうか。 中堅教員になり、読み始めた本の中で心を動かされた著作者がいます。以前学校便りに書いた「森 信三」です。森は、尋常小学校の教師や師範学校の教師を経て、選ばれて神戸大学の教授となり、最後に押しも押されぬ名師となつた思想家哲学者になりました。 森は「教育とは流れる水に、文字を書くようなほかない仕事です。しかし、それをあたかも真剣で取り組まなければなりません。教師が、おのれ自身がかかると生命の火を燃やさずして、どうして生徒の心に点火できるか。」と語っています。まさに、命から発したと思われる言葉です。教師の魂と子どもの魂が呼応してこそ教育は成り立つというのです。森の本を読んで、自分自身大いに反省させられたとともに、大きな勇気をもたらしたような感じがしました。このような感激や感動をたくさんの子供たちにも味わわせたいと思います。 小学校より平成18年5月号 長巻頭言より一部抜粋